

第69回

火の用心

文化財防火デー

令和5年1月26日 全国一斉



2022年度 全国統一防火標語 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」



昭和24年1月26日法隆寺の金堂が炎上し壁画が焼失しました。このことから、昭和30年に1月26日を「文化財防火デー」と定め、以来、この日を中心に文化財を火災などの災害から守るため、全国的に防火運動を展開しています。

小松市においても大切な文化財を守るため、市民の文化財愛護意識の高揚を図り、文化財所有者、地域住民等と連携・協力してこの運動を推進しています。

推進項目

防災訓練等の実施

いざというとき、適切に対応できるように文化財所有者・管理者の皆さまは、通報、消火、重要物品の搬出及び避難誘導等の総合的な訓練を実施しましょう。

防火防災体制の整備

消防計画や自衛消防組織の充実強化など、防火防災体制の再確認を行いましょう。

また、近隣住民との連携体制を今一度確認し、地域ぐるみでの文化財愛護に努めましょう。

防災設備の点検・確認

消火器、自動火災報知設備等の防災設備は、定期的に点検・整備し、いざというときに使用できるよう、取扱い方法を確認しておきましょう。

適正な火気使用

当たり前のことが「つい・うっかり」にならないよう、暖房器具、コンロ、ロウソクなどの使用時は、その場所を離れない、しっかりと消火する。一人ひとりが火の用心心がけましょう。

可燃物・危険物の管理

建物の周辺には、木材や落ち葉などの可燃物を置かないようにしましょう。また、灯油、ガソリンなどの危険物は適正に管理し、多量に保管しないようにしましょう。

消防機関との連携

消防本部や消防団では、消防訓練や防火指導、立入検査などを実施します。該当施設の文化財所有者・管理者の皆さまのご協力をお願いいたします。

「文化財防火デー」主な行事

■ 葭島神社 消防総合訓練

1月22日(日)9:30～
奉賛会、町内、中消防署、消防団

■ 那谷寺 消防総合訓練

1月22日(日)11:00～
奉賛会、町内、南消防署、消防団

■ 消防機関による立入検査

1月中 市内文化財建造物

那谷寺

養老元年(717年)、泰澄大師が岩窟に千手観音を安置したのが始まりと伝えられる真言宗の名刹。

江戸時代に加賀三代藩主前田利常によって再建され、後に小松を訪れた芭蕉が那谷寺を参拝。「石山の石より白し秋の風」の名句を残しています。

秋には紅葉を楽しむ人々で賑わいます。



小松市消防本部・小松市消防団・小松市防火協会・小松市少年女性防火委員会・その他協力団体